

令和5年度おだわら市民交流センターUMECO第三者評価

○ 各委員の評価点の平均点（5点満点）

拠点	相談・支援	協働支援	学習・体験	交流	情報発信	男女共同	国際
3.8 (3.8)	3.8 (2.9)	3.5 (3.0)	2.6 (2.8)	3.9 (3.8)	3.3 (3.4)	3.1 (3.1)	2.6 (2.8)

誰でも気軽に	シェアしながら	地域の課題を解決する
3.8 (3.3)	3.6 (3.4)	3.4 (2.8)

※（ ）内は前年度の評価点

I 機能の達成状況

（1）6つの機能

①拠点機能【3.8点】

- ・ UMECO企画展とアクティブサロンについて、概ね目標値を達成しており、市民活動団体の活動内容や成果等を発表する場を提供できている。また、会議室の稼働率も良好である。
- ・ UMECO企画展やアクティブサロン等について、さらに様々な分野の団体の参画を促進するとともに、UMECO独自の企画（地域や事業者との連携など）やホワイエの有効活用をご検討いただきたい。登録団体の減少や目標値に届かない指標等も見受けられるので、アンケート調査も行いながら、さらに利用しやすい場を目指していただきたい。

②相談・支援機能【3.8点】

- ・ 幅広い相談が寄せられ、ボランティア相談対応や団体紹介を行った。スタッフが外部研修や事業視察に能動的に参加できているので、引き続き職員間の情報共有等を徹底し、相談スキル向上に努めていただきたい。
- ・ 市民活動団体の人材確保に係る支援については、一般市民からのボランティア相談が多い現状を踏まえた一層の工夫が望まれる。併せて、一般市民と市民活動をつなぐ事業について、主対象を若者とすべきかどうかなど、改めて検討していただきたい。
- ・ 団体からの専門的な相談が少ないことから、その原因分析を行う必要がある。また、そうした相談によりの確に対応できるような組織的な体制強化に努めるとともに、UMECOで対応できる内容を（具体的に列挙する）メニュー化する、団体側にUMECOから働きかけるなど、積極的なPRにも力を注いでいただきたい。

③協働支援機能【3.5点】

- ・ 地域とのネットワークについて、学校関係を中心に件数を増加させており、市民活動団体と学校との関係づくりに期待が持てる。これを機に、市内全域への波及を目指していただきたい。
- ・ パートナシップミーティングでは、他市町の協力を得て多くの参加者があった。一方で企業とのネットワークでは、継続的に連携に取り組んでいる点は評価できるものの、参加団体の分野や企業に偏りが見受けられる。幅広い分野の団体にメリットのある連携

方法を研究し、積極的に発信していただきたい。

- ・企業、地域、行政等、多様な主体の連携を促進できるよう、各主体のニーズを積極的にリサーチするとともに、情報交換の機会提供、連携するメリットや様々な協働事例の周知等に努めていただきたい。

④学習・体験機能【2.6点】

- ・夏休みボランティア体験学習について、参加者の満足度が高いこと、WEB受付により利便性を高めていることなど、一定の評価ができる。各年代における参加者の増減要因を分析するとともに、従来の手法・ターゲット（中高生）にとどまらないPRを検討するなど、改善につなげていただきたい。
- ・市民活動団体のニーズを捉え、外部講師を招いて助成金活用講座を実施した。今後は、日頃から団体への聞き取りを行うなどして、活動周知や集客、人材獲得といった、多くの団体が実際に抱えている問題を把握し、その解決に資する講座を実施していただきたい。

⑤交流・コーディネート機能【3.9点】

- ・市民活動団体同士が交流する場を継続的に提供した点は評価できる。
- ・一過性の交流にとどまらないよう、各イベントの開催目的やターゲットを整理するとともに、積極的なコーディネートに努め、交流の先にある連携を具体的にイメージできるものを目指していただきたい。また、そうした開催目的等を踏まえたアンケート項目を設定したり、実施後のフォローアップを行ったりすることで、事業の成果を正確に把握できるよう努めていただきたい。

⑥情報の集約・発信機能【3.3点】

- ・UMECOだよりやホームページ、FMおだわらを活用し、市民活動の継続的な情報発信を行った。今後も、市民が必要とする情報を適切に提供できるよう努めていただきたい。また、市民活動応援補助金交付団体への支援や制度周知の一環として、取材記事をホームページに掲載するなど、PRを強化できると良い。
- ・ホームページについては、早急にスマートフォン版を構築するとともに、UMECOのことを知らない一般市民にもその役割等が伝わりやすいレイアウト、内容となるよう、利用者目線で検討していただきたい。

(2) その他

①男女共同参画【3.1点】

- ・行政と連携して男女共同参画に係る企画展示を行い、意識向上に努めた。
- ・男女共同参画分野の市民活動団体及び行政との連携を進め、社会課題となる問題の発掘や情報発信により主体的に取り組んでいただきたい。

②国際交流【2.6点】

- ・館内国際交流コーナーでの情報発信をはじめとし、日本語教室への会場提供やUMEC

○企画展における国際交流関係展示等を実施した。

- ・国際交流の分野で活動している市民活動団体間の交流の場を設けたり、団体や企業、行政の連携強化を図ったりするなど、一歩踏み込んだ交流支援が実現できるようご尽力いただきたい。

Ⅱ コンセプトの達成状況

①誰でも気軽に つながりを生み出すきっかけの場【3.8点】

- ・UMECO祭りやUMECO企画展、相談業務などを継続的に実施し、駅前という立地もあり多くの方に市民活動を知り、また触れることのできるきっかけの場を提供できている。
- ・市民活動に対する一般市民の関心を高められるよう、アンケート項目の精査や回収率の向上などを図り、その結果を有効に活用していただきたい。
- ・市民活動に参加するきっかけ作りとして、市民活動入門講座の定期開催や企業等での出張開催、ホームページの充実、立地をさらに生かした情報発信等に取り組めると良い。また、相談実績をPRすることで、市民側からの積極的な相談を促すことなども考えられる。各団体等が、きっかけの場から実現の場へとステップアップできるよう留意しながら、各事業に注力していただきたい。

②シェアしながら それぞれの思いがつながる行動の場【3.6点】

- ・震災に絡めたテーマを設定するなど時期を捉え、主に団体同士の交流促進に努めたことは評価できる。
- ・より団体の活動の広がりにも貢献できるよう、各事業実施前のニーズ調査を徹底するとともに、団体向けの講座ではPDCAサイクルに基づく事業改善、情報発信については他地域を含めた先進事例収集等にも努めていただきたい。
- ・各事業の目的に応じた成果の検証ができるよう、振り返りを徹底していただきたい。アンケートについては、例えば団体向けの講座であればスキルアップにつながったかを重視し、UMECO祭りであれば参加団体と一般参加者で設問を変えるなど、工夫する必要がある。

③地域の課題を解決する 行動を社会貢献につなげる実現の場【3.4点】

- ・助成金活用講座や市民活動応援補助金に係る相談対応など、特に資金確保に係る課題解決に向け、注力できた。
- ・県西地域に拡大したパートナーシップミーティングやインクルーシブ防災をテーマとした団体交流会により交流促進に努めており、一定の評価ができる。
- ・地域課題の解決のためには、市民活動団体だけでなく、地域や企業といった多様な主体の連携をコーディネートする必要がある、そのためには各主体のニーズを把握しなければならないので、直接声を聴くなど情報収集や関係づくりに努めていただきたい。また、団体のエンパワーメントも重要であるので、それぞれの課題感を丁寧に掘り起こし、必要な支援につなげていただきたい。

Ⅲ まとめ

市民活動団体同士が交流する場や一般市民が市民活動に出会うきっかけの場を、駅前の立地も生かしながら継続的に提供できていることを評価する。引き続き、相談業務やコーディネートにあたる職員のスキルアップ、効果的な事業周知、地域や企業のニーズ把握等に努め、より専門的な見地からのアドバイスや団体同士にとどまらない多様な主体間の協働を促進することなどを通じ、UMECOが団体にとって地域課題の解決に貢献する「実現の場」となることを目指していただきたい。

一方で、団体向けの講座や、各事業の振り返り、ホームページに関して、課題があると考ええる。団体向けの講座については、団体の抱える課題を丁寧に把握、分析した上で、ニーズに即した講座等を、必要に応じて外部講師も活用しながら実施していただきたい。各事業の振り返りについては、アンケート結果が重要な指針となるため、それぞれの開催目的に即した項目を設定し、さらに回収率を高める工夫が必要である。ホームページについては、スマートフォンに対応したものとするとともに、UMECOの役割を一般市民に分かりやすく伝えられる構成となるよう、利用者目線で検討していただきたい。

なお、一部事業について、若者をメインターゲットとしている。若者へのアプローチは重要であり取り組むべきだが、実際に団体において中核を担っているメンバーの多くが中高年であることを踏まえると、そうした年代への働きかけをより強める必要があると考える。UMECOにおいて定期的に、あるいは企業を介して市民活動を紹介するなど、積極的な取り組みを期待する。